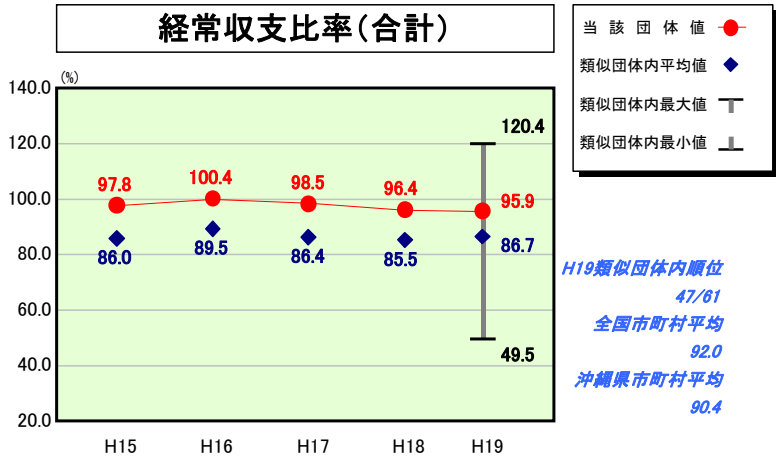


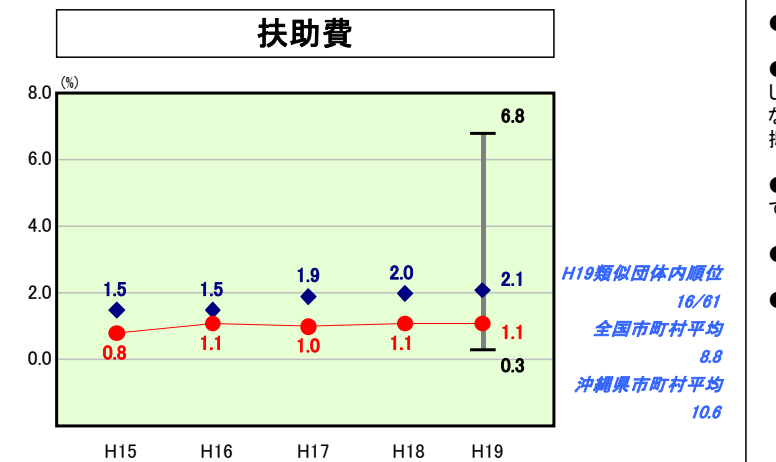
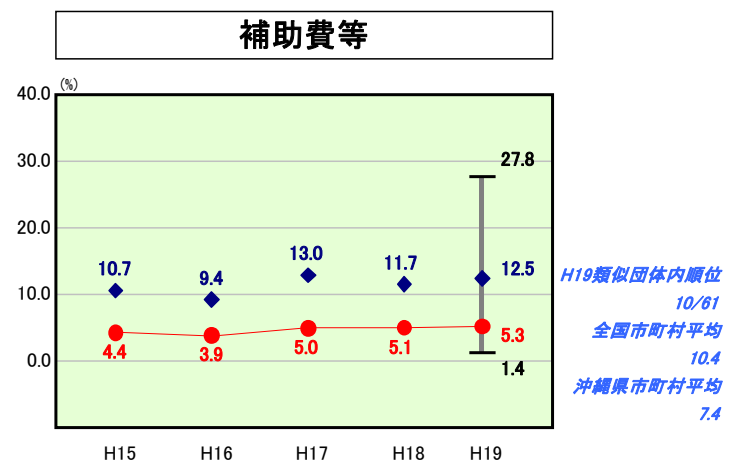
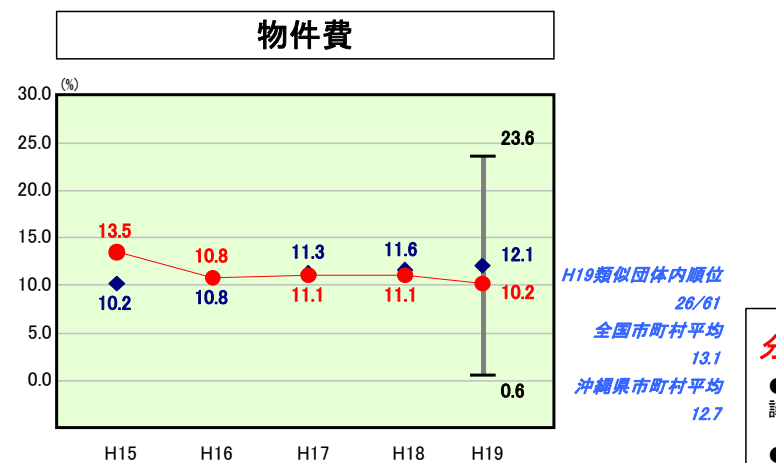
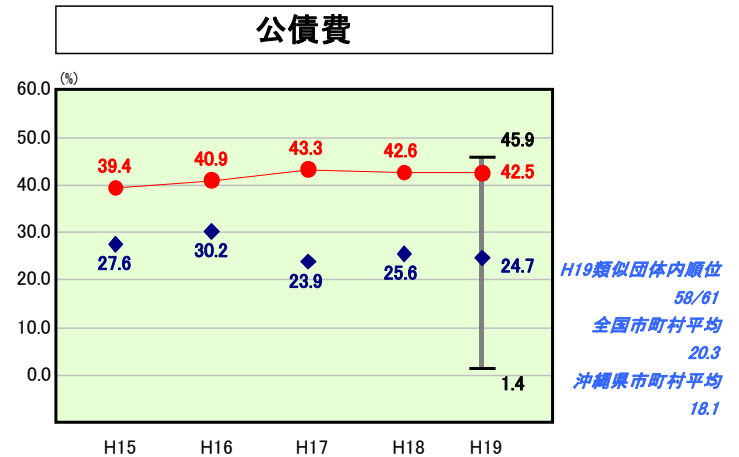
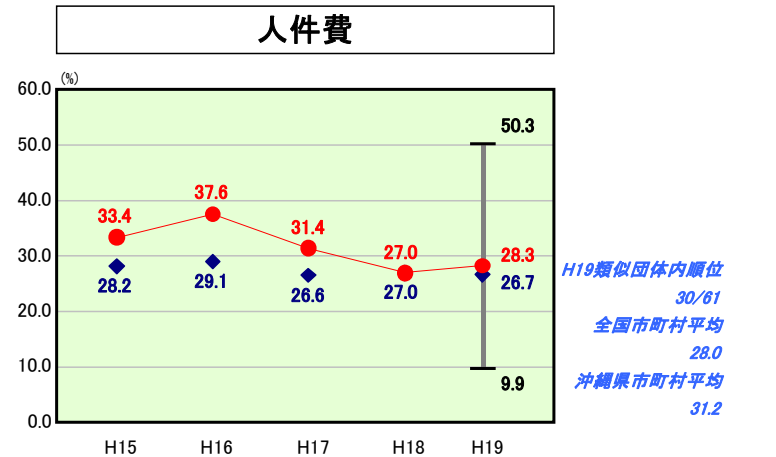
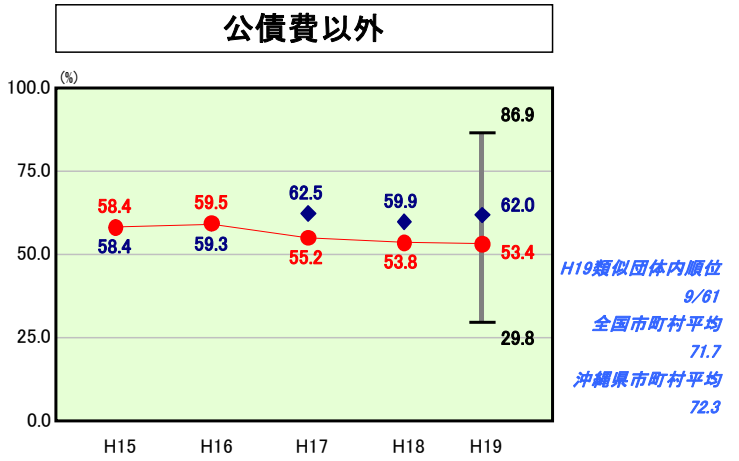
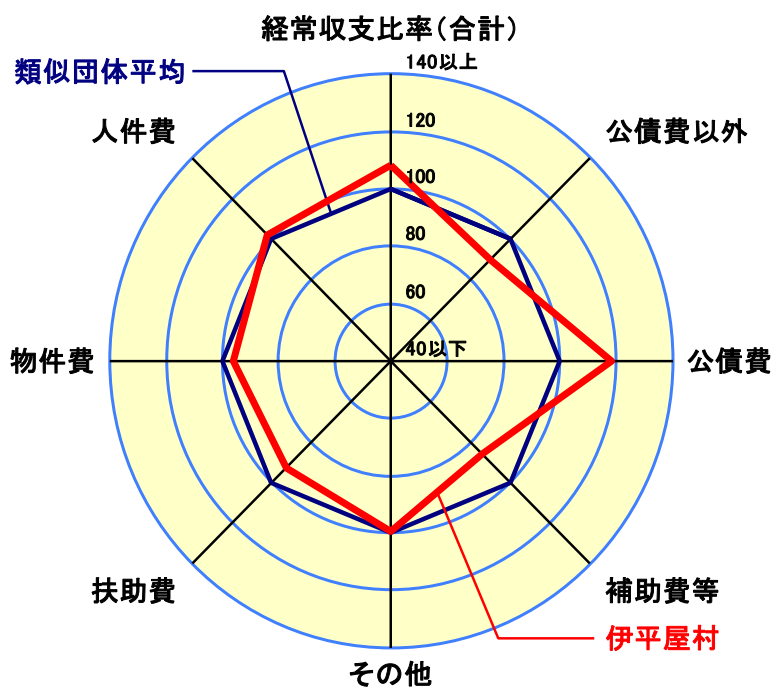
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 伊平屋村

経常収支比率の分析



人口	1,430 人(H20.3.31現在)
面積	21.72 km <sup>2</sup>
歳入総額	1,993,011 千円
歳出総額	1,980,087 千円
実質収支	-3,633 千円



- ※ 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

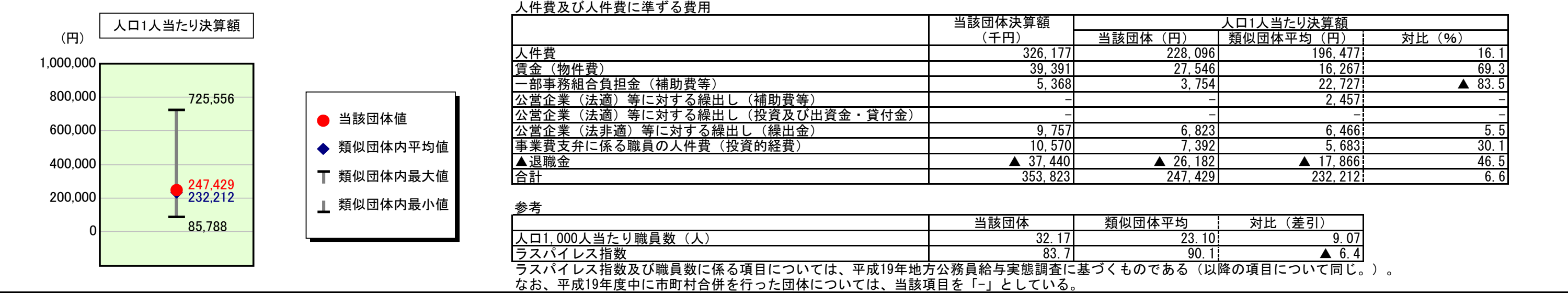
分析欄

- 人件費: 類似団体平均より1.6%高い水準にある。今年度は職員手当(期末手当)を特別職100%カット、議員60%カット、一般職員50%カットによる人件費の削減。
- 物件費: 類似団体平均を1.9%下回っている。引き続き事務事業の見直し等を進めるとともに、更なる経費節減に努める。
- 扶助費: 類似団体平均を1.0%下回っている。今後も各種処置の実態等を把握し縮減に努める。
- 公債費: 類似団体平均に比べ高止まりしているのは、ハコ物建設や経済対策等に伴い多額の地方債を発行したことによるものである。今後の発行債について、事業の必要性、緊急性、財政負担等を十分に勘案し有利な起債を活用し公債費負担を抑制する。また、公債費負担適正化計画に基づき適正化を図っている。
- 補助費等: 類似団体平均を7.2%下回っている。平成17年度から減額廃止等の削減を行なっているところである。今後とも負担経費のあり方、行政効果等を精査し整理合理化を図る。
- その他: 類似団体平均とほぼ同率である。今後も節減合理化に努める。
- 公債費以外: 類似団体平均を下回っている。今後も節減合理化に努める。

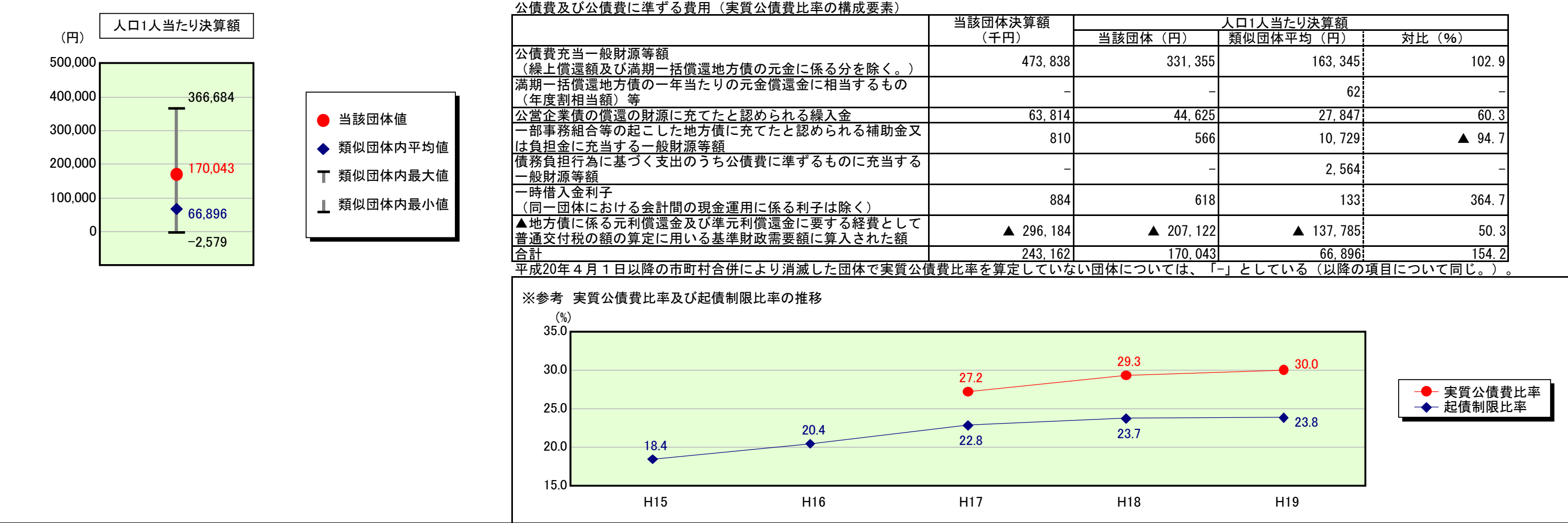
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 伊平屋村

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



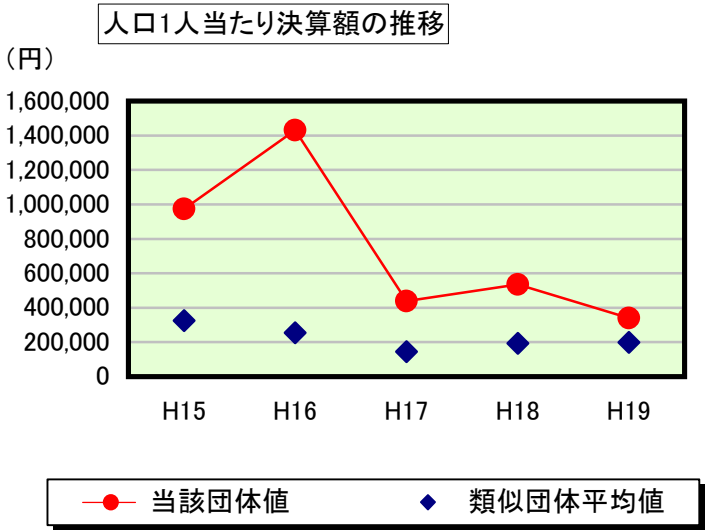
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 伊平屋村

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口 1 人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H15	1,544,490	973,827	22.6	325,881	▲ 2.7	25.3
うち単独分	25,594	16,137	▲ 24.4	183,370	2.3	▲ 26.7
H16	2,214,863	1,431,715	47.0	253,737	▲ 22.1	69.1
うち単独分	7,555	4,884	▲ 69.7	157,330	▲ 14.2	▲ 55.5
H17	672,658	438,499	▲ 69.4	145,084	▲ 42.8	▲ 26.6
うち単独分	5,426	3,537	▲ 27.6	86,352	▲ 45.1	17.5
H18	797,205	535,756	22.2	193,373	33.3	▲ 11.1
うち単独分	6,755	4,540	28.4	111,830	29.5	▲ 1.1
H19	486,857	340,459	▲ 36.5	199,737	3.3	▲ 39.8
うち単独分	1,069	748	▲ 83.5	128,289	14.7	▲ 98.2
過去 5 年間平均	1,143,215	744,051	▲ 2.8	223,562	▲ 6.2	3.4
うち単独分	9,280	5,969	▲ 35.4	133,434	▲ 2.6	▲ 32.8